

ボールの特性レポート

BALL REPORT



ボール名	Graffiti TAG		投球者	徳江 和則	センター	平和島スターボウル
RG	2.480	△RG 0.034	●ピン ★PAP ✕CG ■バランスホール			

テストボール：Graffiti TAG

フレアーの幅 インチ

PAPからピンとの距離 5 インチ

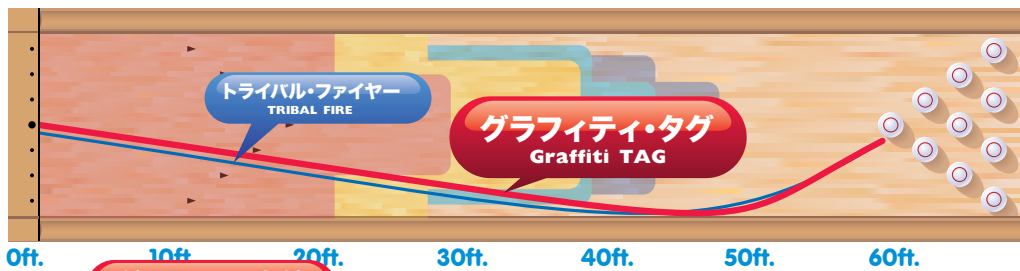
表面加工
 箱出し状態
 加工
 ペーパー
 ポリッシュ
 研磨剤

比較対照ボール：TRIBAL FIRE

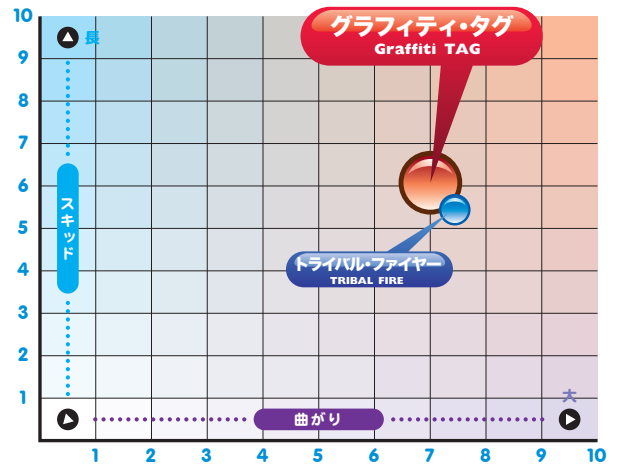
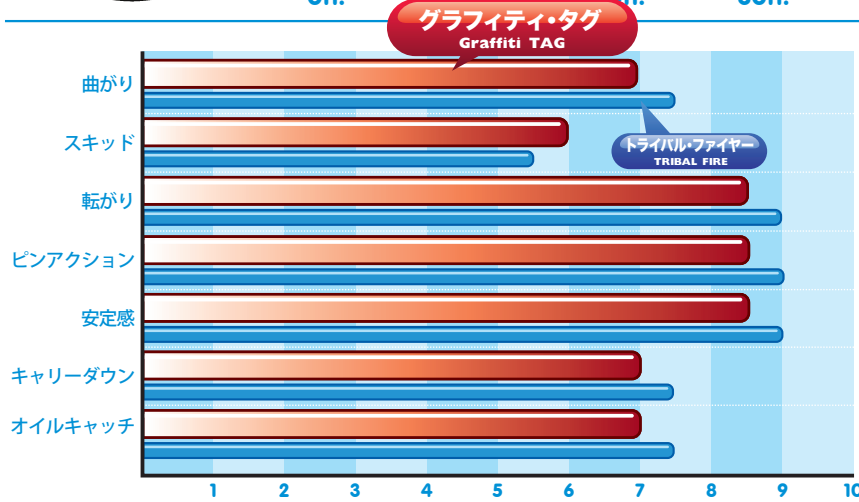
フレアーの幅 インチ

PAPからピンとの距離 5 インチ

表面加工
 箱出し状態
 加工
 ペーパー
 ポリッシュ
 研磨剤



- ヘビー
- ミディアム
- ライト
- バフ



ボールの評価

MOTIVブランドのもつ攻撃的な性能と確立されたパフォーマンスで世界的にシェアを拡大する中、MOTIV Fanに朗報です。MOTIV Fan増殖とともにすべてのボールをMOTIV社のボールで集めるボウラーも増えてきました。その場合今までのMOTIV社のボールではmediumクラス以下の性能分布のボールは少なかったのです。そこに今回このGraffiti TAGがレポートに加わることで、一気に使用領域が広がったと言えるでしょう。基本設計はTribal FireのHalogen CoreとOctaneのAgility SFX (Skid Flip Xtreme) Reactive のmediumクラスのカバーストックAgility MXR pearl Coverstockで構成されています。Tribal Fireとの比較投球では、Halogen Coreのもつ先でのアグレッシブさは双方に感じられ、今回新し採用されたAgility MXR pearl Coverstockがそのアグレッシブな動きをさらに奥に出しているように感じます。

Agility CoverはOctaneで使用された経緯もあり、Coverの構成は変わっても”スキッドとキャッチ”の両側面は良い部分で継承され、特にGraffiti TAGではよりスキッドを増してキャッチはやや抑えめにしてそのパワーをよりバックエンドに反映させたかったのでしょう。

スキッド力とバックエンドのグリップ力のバランスでその意図を十二分にパフォーマンスとして感じられます。このGraffiti TAGが加わったことでMOTIV社一色のレポートに加わったユーザーは多いのではないかと思います。mediumクラスから以下でも十分攻撃的に勝負にけるボールがこのGraffiti TAGです。

特記事項

mediumクラス以下の性能分布でも十二分に攻撃的に点数をもぎ取ることのできるボール。MOTIV Fanでなくても走りとキレを求める方はこのボールがおすすめです。